



創立70周年「つづく つながる 夢を育てる学び舎」

国立二小だより

令和2年(2020年)7月30日

国立市立国立第二小学校

校長 小林 理人

二小家族

離任式で感じた心のつながり

小林 理人

臨時休業で始まり、段階的に再開した1学期の学校生活も今日、終業式を迎えました。

感染者数の増加や豪雨による被害など、不安を感じる出来事が続いた7月でしたが、学校は新しい生活習慣に慣れようと努力したり、友達との学習や生活を精一杯楽しもうとしたりする子供たちのやる気が満ちていました。そして、学習や生活場面では、できることを工夫したり、できるように調整したりする子供たちの力の大きさや、発想の豊かさを感じる場面がたくさんありました。不安や心配、戸惑いを希望や挑戦といった前向きな気持ちに変えてがんばる子供たち、そして、子供たちを温かく見守り、励ましてくださった保護者、地域の皆様の励ましやご協力に支えられた1学期でした。

改めて感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

右は、6年生の児童が臨時休業中に描いたイラストです。

心のつながりや、二松、芝生、桜などの自然と豊かさに

「二小家族」という素敵なタイトルを付けた作品です。

そして、先日、3カ月遅れて行われた離任式は、このタイトル

「二小家族」のような心のつながりを感じる式になりました。



「二小家族」 行事大好きお父さん
二松は母 桜・芝生は子供たち

今年度は、コロナ禍で中止せざるを得ない学校も多かった離任式ですが、本校では校長室をスタジオとし、テレビ放送で行いました。

初めに、離任した先生方にお別れと感謝の気持ちを込めて書いた手紙を、代表の児童が読み上げ、花束と一緒に手渡しました。そこには、離任した先生方との心のつながりを感じる温かい言葉があふれており、子供たちの心の豊かさや優しさを改めて感じました。

次に、ご来校いただいた6名の先生方から、カメラを通して挨拶がありました。

「二小を離れてみて、感じたことがあります。それは、二小の緑の素晴らしさです。」

「みんなに会えて心が温くなりました。これからもみんなを元気にする言葉をかけてください。」

「がんばり屋さんみんな。学校を大事にしてくれる保護者の方や地域の皆さん。……」

最後に、二小のように落ち着いた温かい学校で過ごすことができたことに感謝しています。」等一言一言、言葉をかみしめながら子供たちに思いを伝えてくださいました。

子供たちは、教室でテレビの画面をじっと見つめ、静かに聞いていました。先生方と過ごした楽しい時間を思い出し、改めて心のつながりの大きさを感じているようでした。

子供たちにとって、離任式はお世話になった先生方との心のつながりを感じたり、感謝の気持ちを伝えたりする大きな節目となる学校行事です。そして、教職員にとっては子供たちの成長した姿に接し、喜びや感謝の気持ちを子供たちに伝えることができる貴重な機会となります。

様々な制限の中、例年とは違う離任式でしたが、ともに過ごした時間の尊さや、心のつながりを感じる「二小家族」という言葉がピッタリの式になりました。

明日の終業式が終わると夏休みが始まります。例年よりも少し短い期間になりますが、2学期に向けての充電期間でもあります。新しい生活様式を意識しながら、ご家族でできることを考えたり工夫したりして過ごす夏休みになりそうです。ご家族で過ごす時間が皆様にとって、心のつながり確かめ、2学期に向かう力を蓄える「宝の時間」になることを心からお祈りいたします。

※離任した教職員からのメッセージは裏面にまとめました。